

令和8年5月に発生した農作業死傷事故

7月のワンポイント

農林水産省HP等による公表



タイトル：SSの安全確保と熱中症予防の徹底

＜5月に発生した農作業死傷事故：40件＞

うち農業機械作業に係るもの：34件

○5月は25件の死亡事故を含む40件の死傷事故が報告されました。

○34件発生した農業機械作業に係る事故のうち、乗用型トラクターやスピードスプレイヤーなど大型農作業機による転倒・転落事故が25件報告され、そのうち死亡事故は18件でした。

○安全フレームが装着されている農業機械を取り扱う際は、安全フレームを立ててシートベルトを着用することにより、転倒・転落時の重症化を防ぐことができます。

○また、作業前に走行経路に見えにくい場所やぬかるんでいる場所などの危険個所が無いか確認しましょう。暑さで集中力が途切れる場合もありますので、機械作業であってもこまめに休憩を取りながら作業を行うようにしましょう。

＜7月のワンポイント＞

○7月は、農作業中の熱中症発生件数が急増する傾向にあり、畑やビニールハウスなど屋内外で発症しております。

○農業はひとり作業が多く、熱中症で倒れた場合、発見までに時間がかかる傾向があります。その結果、症状が重篤化しやすく、死亡に至るケースも見受けられます。

○対策として、以下の点に気を付けましょう。

- ・事前に暑さ指数（WBGT値）を確認して、農作業の予定を立てる
- ・熱中症対策アイテムを活用する
- ・こまめに休憩する（日陰や冷房のある場所で体を冷やす、水分・塩分補給など）
- ・十分に睡眠を取る等により体調を管理する
- ・1人作業はできるだけ避ける（1人で作業せざるを得ない場合は家族等と30分毎に連絡を取る）

○本年7月～9月に、農林水産省では「夏の熱中症等声かけ期間」を実施します。「いのちをうばう、夏のひとり作業」をキャッチフレーズとしておりますので、家族や周りの農業者の方とお互いに声を掛け合い、熱中症に気を付けましょう。

○また、現在「熱中症等対策声かけ隊」を募集しています。農業現場での見守りや声かけ、農業者の集会や会合での地域リーダー等による声かけなど、様々な形態での声かけ活動が対象です。多様な主体の参画をお待ちしております。以下のQRコードよりぜひご応募ください。参画いただいた方には農林水産省から感謝状を贈呈します。

熱中症対策アイテム（体温上昇を防ぐ）

令和8年度「熱中症等対策声かけ隊」 申込フォーム



ファン付きウェア
身体に風を吹き込み、
気化熱で涼しい



ヘルメット・帽子
遮熱素材を練り込んだもの
や通気性のあるものなど、
素材や機能性もチェック



冷却ベスト
保冷剤などで身体を直
接冷やす。ファン付き
ウェアの組合せも◎



ネッククーラー
首元は冷やす場所として最
適。水や氷を使用するもの、
充電して使用するものがある

